

事業報告書 (平成 30 年度)

事業名 発達障害を含むカラフルな個性を持つ子どもたち、大人たちへのより良い理解を促進し、一般社会との架け橋をつくっていく

団体名 カラフルキッズの会にじのね 担当者名 田中 朋子

※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

<p>1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)</p> <p>① にじのね座談会(毎月第4金曜日開催) ② こそだてカラーズ(毎月第2火曜日開催) ③ にじのね夜カフェ(不定期土曜日夜開催) ④ にじのね楽習会(5回開催) ⑤ たのしいおんがく(今年度は10月に開催) ⑥ SNS等での交流・情報発信</p> <p>*詳細は別紙</p>
<p>2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ</p> <p>今年度からは公民館の企画会にも参加し、他団体や公民館関係の方とのつながりを深めた。公民館企画講座にもスタッフとして参加し、講座参加者に会の情報を提供することができた。</p> <p>また、会場も内容によっては一つの会場だけでなく公民館も利用することで、より地域の方や初めて来る方が参加しやすいようにした。</p> <p>企画に関しては会への参加者を中心に、「今」必要な情報ができる限り発信できるように、企画の時期や内容を吟味した。</p> <p>チラシや情報発信の内容も、見え方やデザインに気を配るなどLDの方にもできる限り伝わりやすい内容を心掛けた。</p>
<p>3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)</p> <p>参加者は昨年度に比べて減少したが、参加してくださった方からは「今一番知りたかった情報が得られてよかった」「少しやってみようかなという気持ちになれた」という感想を多数いただいた。</p> <p>また、公民館企画講座で会の情報を知った方が、「こんな会を求めている！」と新たに参加してくださったこともあった。</p> <p>継続して参加して下さっている方の中には、「以前は自分自身が誰にも話せなかったが、会に参加しているうちに今は自分が相談を受ける側になっている」といううれしい循環の声も聞かれた。</p>

4. 今後の課題と展望

今後は行政や福祉関係機関とも連携しながら、「支援の入り口」としての情報提供や、相談できる場の充実を目指したい。

来年度は岡山市内の障害児事業所一覧作成を予定しており、今年度終わりに岡山市内の全事業所へアンケートを送付している。(現在回答集計中)

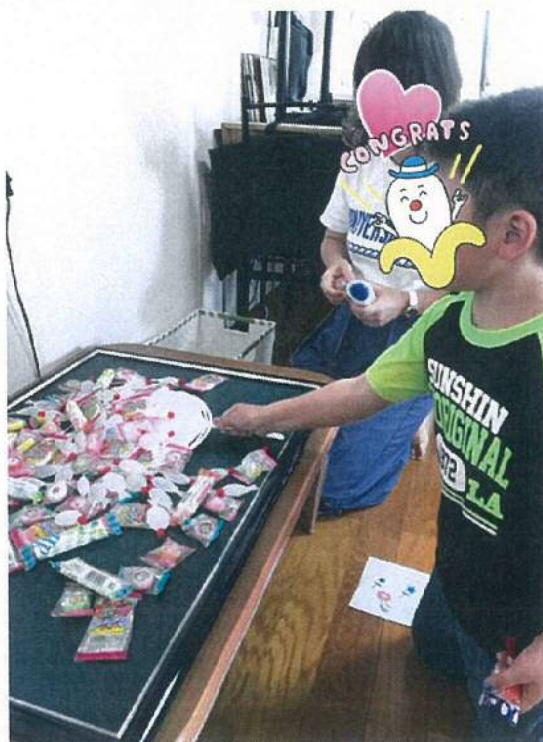
今後は WEB 上での情報のまとめをし、会へ参加しているいないにかかわらず、より多くの方により多くの正しく、生きた情報が届くようにしていきたい。

また、子育て中の当事者に特化した居場所作りや企画にも着手していきたい。

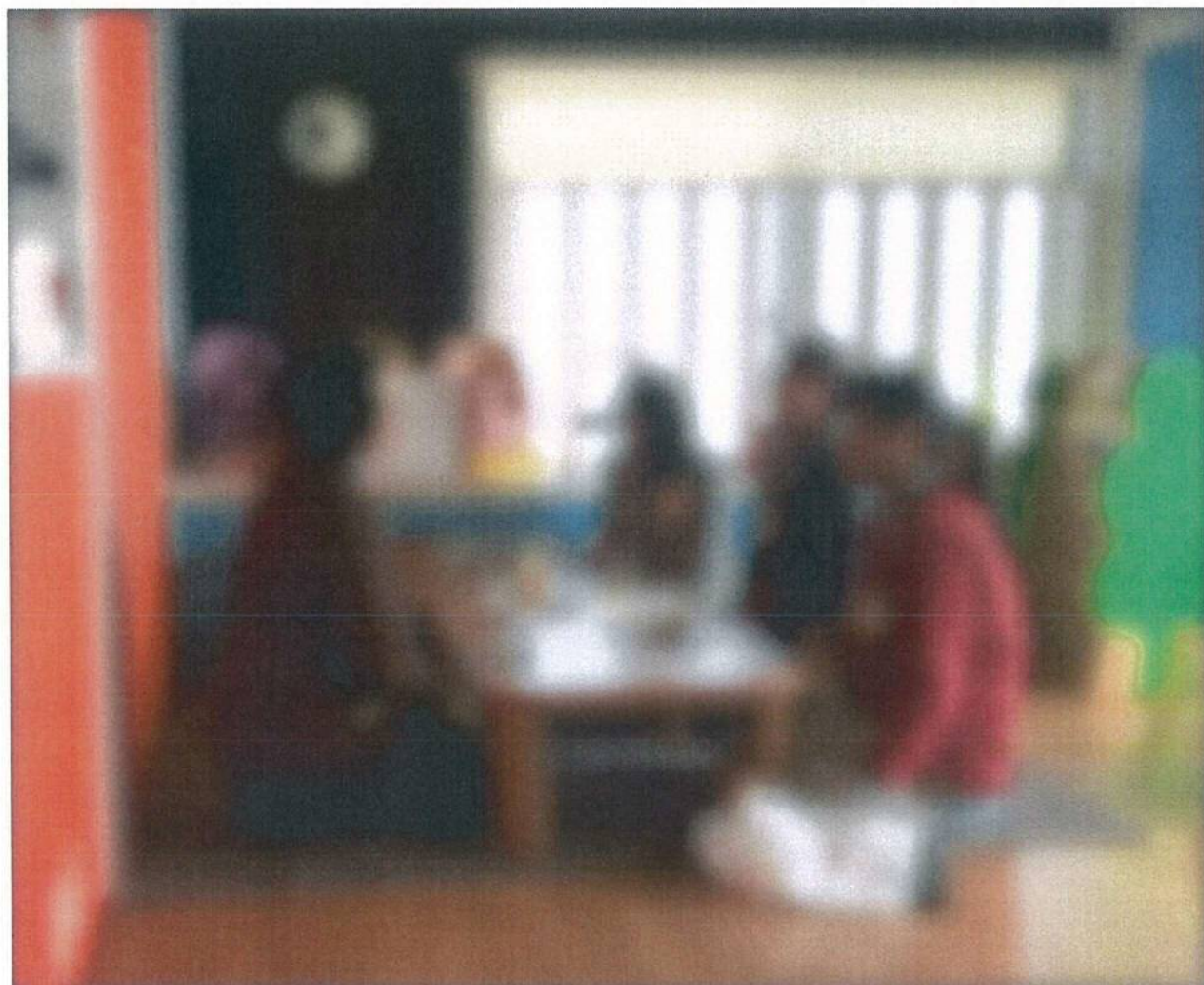
1.にじのね座談会 月1回第四金曜日に開催 毎回10名前後の参加

発達障害と診断されている子もされていない子も含む、多様な個性を持つ子どもたちを育てる母たちがざっくばらんに情報交換や悩みや不安の相談がしやすいような環境を目指して取り組んだ。また、年に2回程度休日（祝日・土曜日）にも開催し、平日の参加が難しい方も参加しやすいようにした。

長期休み中には子どもも楽しめる企画も用意し（夏祭り）、好評であった。



2.大人のカラフルさんの会　こそだてカラーズ　月1回第2火曜日に開催　毎回5名前後の参加
当初は大人の発達障害当事者（未診断含む）と、関わる人の会として運営していたが、平成30
年度途中より活動を見直し、こそだて中の当事者に参加対象を限定して実施した。
また、会場も公民館を利用し、チラシも公民館に置かせていただくことで地域の方に会を知って
もらい、より気軽に参加しやすいようにした。
会としては自分と相手の違いや自身を取り入れてきた生活の工夫などを毎回出し合ってシェアを
したり、当事者同士だからこそ共感しあえる「あるある話」をしたりして毎回盛り上がっている。



3. にじのね夜カフェ　不定期土曜日夜開催　岡輝公民館・大元公民館等
平日昼間開催のにじのね座談会やこそだてカラーズに参加しにくい方のために開催している。
比較的少人数なため、週末の夜にお茶を飲んでゆっくりしながら、日頃の頑張りや入りすぎた力
をホッと緩めてリフレッシュする場になっている。

4.にじのね楽習会 不定期開催 福浜公民館・くじらキッチン

参加者 各回10名前後

発達障害に関することや子どもの育ちなどに関わることを「楽しみながら学ぶ」を目的とした会。

一方的に講師が喋って終わり…ではなく、実際にシェアをしたり、体験したりすることでよりわかりやすく、より普段の日常に取り入れやすいようにした。

今年度の内容

- ・他団体の先輩お母さんにご協力いただいたの「就学・進路 相談会」
- ・カンガルーポー 深瀬みどりさん 「感覚統合を活かした幼児期からのお手伝い」
- ・児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者さんや先輩お母さんにご協力いただいたの「サポートシートシェア会」



5.たのしいおんがく 子どものためのコンサート

対象 すべての子どもと大人 参加人数約30名

普段あまり生で耳にすることのないジャンルの音楽をより多くの子どもたちに聴いて欲しいとの思いで企画している。

今年度は北海道からプロの馬頭琴奏者 嵯峨治彦さんをお迎えして、馬頭琴とホーミーのコンサートを開催した。

会場には寝転がれるスペース・動き回れるスペース・静かに休憩できるスペース（別室）も確保し、子どもたちが自分の好きな楽しみ方で音楽を楽しめるように工夫した。



6.SNSでの情報提供や情報発信 随時

Facebook、LINE等を利用して、他団体や行政等の企画のイベントの情報を共有し、発信した。
また、参加者同士の相談や意見交換も座談会の時だけではなく、SNS上で随時行えるようにした。

各回の活動内容に関しても毎回ブログでまとめをUPして、会の雰囲気や内容がより外部に伝わりやすいようにした。